



めあて 確率の考え方について理解し、問題を解けるようになろう。



教科書 P.158 の「Q」をよく読み、問1・問2の表とグラフを完成させなさい。
ただし、問1では電卓を使ってもよい。



教科書 P.159～161 を読み、下の（ ）にあてはまることばを書きなさい。

学習のポイント

何通りかの結果が考えられる実験や観察においては、（ ）
ほどそれぞれの結果の起こりうる割合(相対度数)はある一定の数値に近づいていく。

「ペットボトルキャップを投げて表向きになる」ということがらのように、結果が偶然に
左右される実験や観察を行うとき、あることがらが起こると（ ）される程度を数
で表したものを、そのことがらの起こる（ ）という。

確率の求め方

ある実験または観察を行うとき、起こりうる結果が全部で n 通りあり、そのどれが起こ
ることも同様に確からしいとする。そのうち、ことがら A が起こるのが a 通りあるとき、
A の起こる確率 p は次のようになる。

$$p = \frac{a}{n}$$



教科書 P.162 の例1を読み、たしかめ2・問1をやってみよう。



教科書 P.164 の例2を読み、たしかめ3・問2をやってみよう。



教科書 P.165～166 の例1・例2を読み、たしかめ1・2・問1をやってみよう。



ここでは「絶対」を学習するのではないんだね。
あくまで「期待」「おそろく」なんだね。



「同様に確からしい」の説明は、教科書 P.161 を読んでおこう。



「樹形図」のかき方はしっかりおさえよう。

ここからの内容は「移行用補助教材『新編 新しい数学1・2』」を見てください。

めあて 箱ひげ図について理解し、問題を解けるようになる。



この単元の学習は中学校1年生の「資料の分析と活用」が基になっています。使われている語句の意味が分からない場合は、もう一度教科書やノートを振り返ってみましょう。



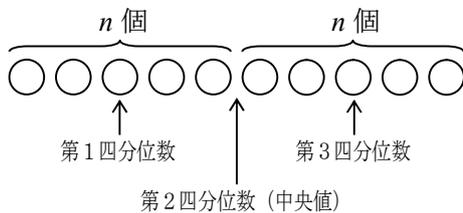
補助教材 P.10・11 を読み、下の () にあてはまることばを書きなさい。

学習のポイント

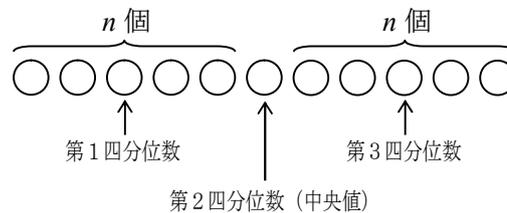
複数のデータの分布を比較するとき、() を用いることがある。
データを () , 4等分したときの3つの区切りの値を四分位数といい、小さい方から順に、第1四分位数、第2四分位数、第3四分位数という。第2四分位数とは () のことである。

四分位数の求め方

偶数($2n$)の場合



奇数($2n+1$)の場合



「第2四分位数(中央値)」の求め方は中1の時の学習内容だね。



補助教材 P.11 の例1を読み、P.15の章の問題B-1をやってみよう。